

風立ちぬ

第22号 令和4年3月15日(火)発行

文責 佐藤正人

卒業おめでとう～羽ばたけ立中学生～

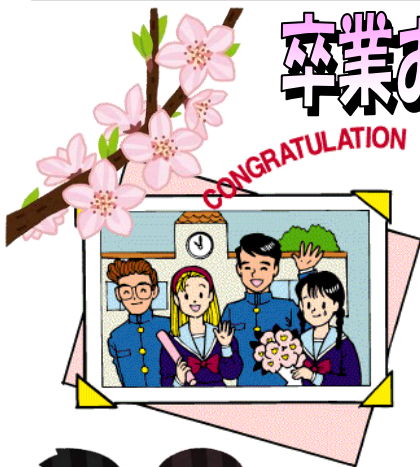


3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

これまでお世話になった方々へ感謝の気持ちを忘れずに、新しいステージで輝いてください。これからは、「感謝の恩返し」を意識できる年齢になります。

「感謝」の恩返しとは何か。

それは立派な大人になることです。立派というのは偉くなることではありません。人が進むべき正しい道をしっかり歩いていく生き方をすることです。その道は長い道であり、決してまっすぐではありません。それでも一歩一歩しっかり進んでいってください。



進級おめでとう～次年度に向けて～

「私」と「あなた」と「みんな」



「私」という存在

まず、自分を大切にしてほしいということです。自分を大切にすることとは、今の自分、明日の自分、そして、進路も含めた将来の自分の姿を見つめ夢や目標の実現に向けて努力すること、さらに、ものの見方や考え方、心の持ちようを学ぶことを大切にしていくということです。みなさんには、まだ、自分自身も気がついていない無限の可能性があり、自分の力を信じ、自らを磨き輝かせる道を進んでください。私達もみなさんと一緒に歩みます。

「あなた」という存在

自分のそばにいる人を大切にしてほしいということです。

これまで、どんな時にもみなさんを見守り、育て、そばにいてくださったご家族の思いを今以上に深く感じ受け止めることができる人になってほしいと思います。また、みなさんは、教室で苦楽を共にする友達、部活動の仲間など、多くの人と接して生活しています。楽しい時には、大きな口を開けて笑い、語り合える、そして、苦しいことに出会った時に手を差し伸べ合える、真の友達関係を築いていくことを大切にしてほしい。そばにいる人を大切にすることは、自分を大切にすることに結びついていきます。私達も、みなさんといっしょに感動の涙を流し、悩みを共有しながら歩みたいと思います。



「みんな」という存在

私達は仲間と生活をいっしょにするとともに、地域の多くの方々にお世話になりながら学び続けていくこととなります。学校は、小さな社会です。これからの時代・社会を力強く生き抜いていくために必要な、自ら学ぼうとする力、課題を発見し仲間と共に解決していく力、集団生活の中で培われる社会性、他者を思いやり尊重する心、そして、自分の育った地域・郷土を愛し貢献しようとする心等を、多くの仲間と共に、切磋琢磨しながら自分の心と体の中に育ててほしいと思います。私達も、みなさんが義務教育の課程を終える時に、どんな時代・社会が到来しているのかをしっかりと見据え、学びを支えていきたいと思ひます。

この世に唯一の存在である「私」、晴れた日も、雨の日も支え合う「あなた」、自分の可能性を引き出し、成長させてくれる「みんな」の存在を大切に、共に歩いていきましょう。



Handwritten Japanese text on a grid of blue sticky notes, arranged in a large, abstract shape. The text is dense and covers most of the page.



Thank you

